

施設名	淀川旧分流施設								
所在地	大阪府 大阪市北区								
管理者等	国(国土交通省)								
施設種類・分野	河川				堰				
施設概要 (明治期との関連含む)	淀川旧分流施設は、我が国最初期の高水工事であると共に、我が国で初めて大型建設機械を導入して実施された淀川改良工事の代表的遺構として、近代河川史上、価値が高い。また、堰と閘門を一連で建設して放水路と旧川の分流を図る形式と、構造物に用いられた井筒基礎等の工法・技術は、我が国の河川工事における先駆けとなるもので、近代における分流施設又は大規模河川構造物建設の一つの規範を示すものとして、重要である。(文献1より抜粋)								
築造時期	明治後期				時期詳細	明治40年(毛馬閘門)・明治43年(毛馬			
関連人物	沖野忠雄								
関連企業	-								
トピックス (特徴的エピソード)	沖野氏は、明治27年(1894)6月28日、時の内務大臣井上馨に「淀川高水防禦工事計画意見書」として提出した。顧みれば、明治新政府発足当時のわが国にはこのような計画を立案する技術者もなく、すべてはデ・レーケをはじめとする多くの外国の技術者に頼らなければなかったが(原文ママ)、以来20年西洋技術を消化した日本の技術者によって完成されたことは、まことに意義深いものがある。(文献2より抜粋)								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産 (土木学会)	○	文化財 (文化庁)	重要文化財	近代化産業遺産 (経産省)	-	世界遺産 (ユネスコ)	-
その他 (関連資料、文献)	文献1:国指定文化財データベース詳細解説 http://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/explanation.asp 文献2:『淀川百年史』(建設省近畿地方建設局 一九七四年)								
管理者等のHP (URL等)	国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所 http://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/ind								

